

深部注入カテーテル ユニックカテーテルの使い方

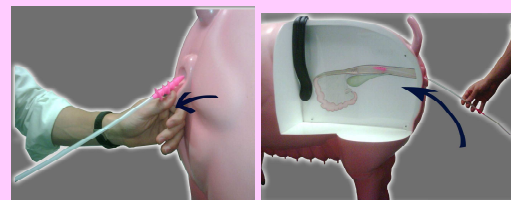
1-ウェットティッシュなどで外陰部を清拭してください。



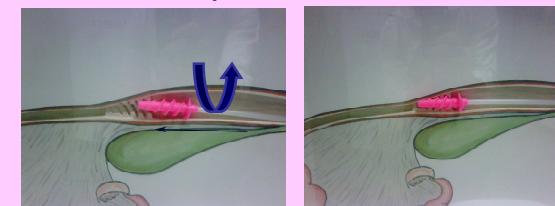
2-



3-外陰部の先端を下に引きながらカテーテルを当て、尿道口に当たらないように上向きにカテーテルをゆっくり挿入してください。

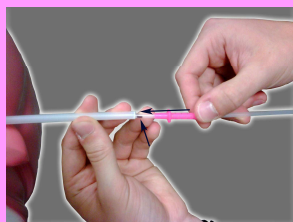


4-カテーテル先端が子宮頸管部入口に到達するとそれ以上は進まなくなります。そしたらカテーテルを反時計回りに1/2回転して、カテーテル先端の螺旋部を子宮頸管にロックしてください。

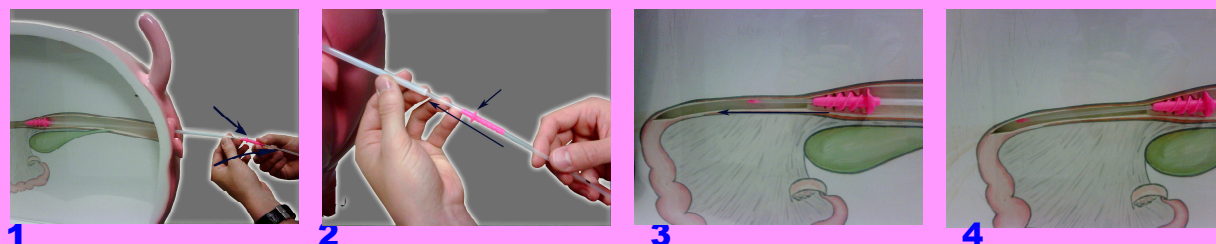


b) 内筒カテーテルを少しずつ押し出して、黒い印まで挿入してください。

黒い目印は母豚の子宮頸管部から子宮体部までの平均的距離です。



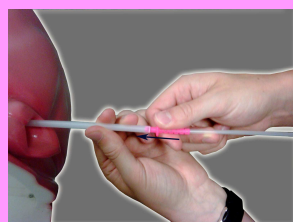
6- a) 外筒カテーテルからピンクのコネクターをはずして内筒カテーテル(内側チューブ)が自在に動かせるようにしてください。



5- カテーテル先端をロックしたらそのまま約90秒間放置してください。90秒間そのままにしておくことは特に大切ですが、時間が惜しければその間に、1~4までの手順を他の発情豚に施すことができます。

c) 黒い目印まで挿入する前に内筒カテーテルに抵抗を感じたら、それ以上の挿入をやめ、内筒カテーテルをピンクのコネクターで外筒カテーテルに固定してください。

内筒カテーテルを強引に挿入することは決してしないでください。



7-内筒カテーテルに精液ボトルを接続してください。

8-注入の際に、コビクリップを使って自然流下させると簡単に精液注入が出来ます。また、コビクリップを装着すると、発情している豚は許容の姿勢をとり、交配適期でない豚は嫌がりますのでその判定にも役立ちます。精液ボトルを加圧すると注入を早めることが出来ます。

9-注入が終わったら速やかにカテーテルを取り外してください。





ランダータ コビポーク社の主要な事業はAIセンターでの活動です。20年に亘る活動を通じて豚人工授精の様々な開発を行ってきました。わが社の成功はこの20年間、パートナーとしてのブリーダーに絶えず情報提供を行い、信頼され続けて来たことです。そしてこのノウハウはあなたの農場にとってもきっと有利に働くことでしょう。

最新の効率的で使いやすいわが社の製品は、あなたの農場を変革し、きっと利益をもたらすでしょう。フランスでは、わが社独自の研究開発は豚人工授精のリーダーとして広く信頼されています。

わが社の製品は世界各地の代理店ネットワークを通じて広範囲で使われています。それはわが社製品の品質の高さと、専門学者との連携がしっかりしており、いつでも必要な助言が得られる体制にあるからです。

Unic System

ガイドマークにより内部カテーテルの挿入の深度をコントロールできます。

母豚と若雌豚の形態に合わせてカテーテルと内部チューブを使用する事で、安全に使用できます。

内部カテーテルに精液バッグを繋げます。フレキシブルチューブにより精液バッグの取り付けと、調整をしやすいです。

コビフレックスシステムでは内部カテーテルを先に挿入し、その後豚の形態によって内部カテーテルの挿入深度を調整します。カテーテルと内部カテーテルの密着性を高め精子の逆流を防ぎます。

最適条件で種付けを行うためフレキシブルチューブを精液バッグに繋げる。

株式会社
フロンティアインターナショナル
Way Ahead